

橋下徹氏西村眞吾氏 人権無視は同じ 戦争の出来る 憲法第9条の改正に反対

橋下共同代表 手の打ちようがなく「英語力のなさ」で乗り切りか

日本維新の会共同代表で大阪市長橋下徹氏の破廉恥で人権無視の暴言は徹底した女性蔑視にとどまらず、人間としての感覚のひとかけらもない最低の発言です。慌てて「自身の英語力のなさから誤解を生じさせた」言いつくろおうとも、腹の中は全くどす黒いままだ。そもそもこの暴言は日本が犯してきた戦争犯罪を包み隠し、戦争の出来る国に引き戻そうという魂胆からでしかない。

第二次世界大戦に対して「侵略との評価を受け止める」と言おうとも今回の暴言は正当化されるものではない。自民党と同じく日本維新の会も「憲法改正」で一致し、戦争の出来る国にするために憲法9条を改正することでは全く違わない。むしろ参院選後は安倍政権と連立をと色気を出し、自民党の尻押しをしていると言える。

日本維新の会 手の打ちようがなく、開き直って西村氏を「除名」と

日本維新の会は二共同代表だけが特異ではない。西村眞吾衆院議員は橋下氏を擁護しようとしたのか、後日の同党代議士会で橋下共同代表と同じように人権無視の発言をした。内容はとても言葉に出来ないもので韓国、特に女性を差別し侮辱するものだ。西村氏は直後に発言を撤回し、離党届を提出したものの、同党は受理せず、除名するという。これは手の付けようがない暴言をもみ消すための開き直りだ。

西村眞吾氏の「レッテル張り」を積極的に情報化してきた JR連合

西村氏は他の国会議員と共に長年にわたりJR総連、JR東労組と革マル派の関係は？ と、何度も何度も国会で質問主意書を提出し答弁を引き出きだすということを繰り返し「JR総連、JR東労組は革マル」のレッテル張りを率先した人物だ。

そのレッテル張りの状況など、国会でのやり取りをJR連合の「情報」に載せて、JR総連、JR東労組そして私たちJR東海労の様々な取り組みを妨害した。今回の西村氏の人権無視の暴言も、まさに「レッテル張り」そのものでしかない。

組合員のみなさん 国労・ユニオン組合員のみなさん

私たち東海労はこの人権を全く認めず、さらに戦争をするために憲法をかえようという日本維新の会と橋下氏と西村氏を、そして自民党を怒りを持って糾弾する。
戦争の出来る国を目指す日本維新の会、自民党の暴走を止めよう！